

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第六卷 第四號

大正七年四月一日發行

論說

「座」ノ研究(再ビ).....

農會瑣言.....

京都ニ於ケル舊時ノ搥屋仲間.....

營業稅ノ課稅標準(二卷).....

Unto this Lastヲ讀ム(一)卷.....

職工組合論(二).....

我國^{ニ於ケル}營利心ノ起源及發達(三).....

時事問題

米國禁輸問題ノ解剖.....

勸業及農工銀行ノ合併ニ就テ.....

雜錄

大阪市ニ於ケル窮民ノ家計(一).....

續獨逸經濟學界近況(二).....

物價ト割引歩合トノ平行.....

米國ノ戰時海運政策(二卷).....

米國ノ戰時租稅法(二).....

帝國統一後ノ獨逸ノ植民的活動(上).....

文學博士

法學博士

法學士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

法學博士

法學博士

法學士

文學士

文學士

法學士

在米

三浦周行

財部靜治

本庄榮治郎

神戸正雄

河上肇

河田嗣郎

銅直勇

神戸正雄

戸田海市

櫛田民藏

米田庄太郎

高田保馬

岸本熊太郎

阿部賢一

山本美越乃

米國禁輸問題ノ解剖

神 戸 正 雄

- (一) 問題ノ意義
- (二) 米國禁輸ノ影響 (A) 經濟上 (B) 精神上
- (三) 米國禁輸ノ目的 (A) 米國參戰ノ目的 (B) 米國禁輸ノ目的
- (四) 米國禁輸ノ對策 (A) 應急策 (B) 根本策

(一)

昨年八月米國ニ於テ鐵ノ禁輸ガ行ハレ、續イテ禁金トナリ、我が邦ノ實業界デハ大騷擾ヲ惹起シタ。今年二月ニナリテハ又米國ニテ一般輸出入ニ關スル特許制度ガ布カルコトトナツタ。其前後ニ於テ彼ガ貿易ノ五割制限說サヘ傳エラレタガ、其ハ幸ニシテ未ダ事實トナラナイ。其レデ大シテ心配スヘキ程ノ事デモナカツタヤウニモ思ハルルガ、實際其ノ成行ヲ冷靜ニ觀察スルト、マダマダ此先キ其ガ嚴重ナル制度ニ變遷スヘキ蓋然性ヲ有ツ所デアルカラ、少シモ油斷ヲ許サヌ。ソシテ此ガ日本ニトリテ實ニ重大ナル影響ヲモツ所デアルカラ、今ヨリ精密ニ問題ヲ研究シテ置ク必要ガアル。假令目前ノ苦痛ハ之ヲ感ジナクトモ、將來ノ爲メニ十分ニ攻究シテ置カナクテハ

ナラス。恐ラク日本ニ取リテハ此ガ刻下最重要ナル經濟問題ノ少クトモ一デアル。日本ノ戰時ノ現在ニ於ケル經濟ヲ調整シ、并ニ戰後ノ恒久ニ亘ル經濟的發展ノ基礎ヲ確立スルノモ、畢竟ハ此問題ノ解決ニ係ルトイフテモ可イ。

(二)

然ラバ此米國禁輸ノ影響ハ如何。其ノ影響トイフテモ其ガ米國自身ナリ世界ノ全體ナリニ及ボス影響モアルガ、其ハ今煩ヲ避ケテ一々説カナイ。其ノ特ニ我國ニ及ボス影響如何。之ヲ茲ニ特ニ研究シヤウト思フ。ソシテ其ニ更ラニ二様ノ方面ガアル。一ハ經濟上ノ方面デ他ハ精神上ノ方面デアル。

(A) 經濟上ノ影響——(イ) 此米國禁輸ガ直接ニハ日本ノ輸出入ニ影響ヲ與フルコト論ヲ待タヌ。ソシテ日本ニトツテハ對米貿易ガ全體ノ貿易中ノ約三分一ヲ占ル。詳シクイヘバ全輸出十六億三百万圓ノ中、對米輸出四億七千八百万圓、全輸入十億二千五百万圓中、對米輸入三億五千九百万圓ヲ占ムル(昨大正六年中)。然レバ日本ノ對米貿易ハ金額ニ於テ最重大デ、其五割ノ制限ハ應ガテ日本ノ全貿易ノ六分一ノ打撃トナリ、其ノ單ニ一割ノ制限トシテモ、八千万圓以上、約一億圓許ノ打撃トナル。加之此制限ノ爲メニハ當ニ我輸出入貿易ヲ減少スルノミナラズ、此ガ我邦ノ物價ニ影響シ、詳シクイヘバ全體、我輸出品ノ國內ニ於ケル價格ヲ低下シ、輸入品ノ國內價格ヲ騰貴セシムルゴトニヨリテ、全體上不利ナル結果ヲ與フルコトヲモ考エナケレバナラス。特ニ日本ノ對米輸出入品ノ性質カラ見テ日本ニ取リテ右ノ影響ヲ一層不利ナラシムルモノアルコトヲモ忘レ

テハナラヌ。即チ日本ノ對米輸入品ノ多クハ日本ノ産業ニ取り必要ナル原料機械類デアツテ、其輸入ガ少クナリ且ツ其價格ノ高クナルコトハ日本ニトリテ非常ニ不利トスル所デアアル。ソシテ日本ノ對米輸出品ノ一大部ヲ占ムルモノハ奢侈品又ハ奢侈品生産ノ原料トナルモノデ、其輸出ノ困難難テ又其價格ノ下落ハ日本國民ノ消費者トシテノ其生活上ニ格別利益ノ大ナルモノナクシテ、唯ダ其生産者トシテノ國民ノ利益ヲ大ニ害ヒ、臆ガテ又彼ノ消費者トシテノ地位ヲモ不良トスルモノデアアル。詳シクイヘバ日本ノ對米輸入品ノ重ナルモノトイヘバ鐵(特ニ條、竿、板、線)ノ一億五千三百萬圓、綿花ノ八千四百萬圓、機械ノ一千七百萬圓、奇性曹達曹達灰ノ一千一百萬圓等デ、日本ノ對米輸出品ノ重ナルモノトイヘバ生絲ノ三億〇六百萬圓、豆類ノ二千一百萬圓、茶ノ一千八百萬圓、羽二重ノ一千六百萬圓、製帽用眞田ノ七百萬圓、陶磁器ノ四百萬圓、屑絲ノ四百萬圓、玩具ノ三百萬圓等デアアル。勿論右ニ列舉シタモノノ中ニテモ豆類、茶ノ如キハ前説明ノ例外デアアルガ、他ハ大體ニ於テ右ノ説明ヲ裏書スル所デアアル。特ニ日本ノ彼ニ對スル輸出入品ノ斯ノ如キ性質ノモノデアアルコトガ、彼ニ於テ其輸出入品ニ制限ヲ爲スニツキ差等ヲ設ルトシテ、日本ニトリテ不利トナルヘキ傾向ノ大ナルコトヲ示メス。即チ彼ニ於テ原料機械等ニハ他ノ奢侈品ヨリモ一層大ナル度ニテ輸出制限ヲ行ヒ、奢侈品ニハ必要品ヨリモ一層大ナル度ニテ輸入制限ヲ行フコトトナル可能ガ大イ。尙又後ニイフ理由ニヨリテ船腹ヲ多ク取ルモノモ制限ノ可能ガ大イガ、日本ノ對米輸出品ノ中ニハ奢侈品トイフヘカラサルモ、尙此船腹ノ點カラ奢侈品ニ準ジテ扱ハルルコトトナルモノガ少クナイ。陶磁器、玩具ノ如キハ特ニ然リデアアル。而シテ斯ク米國ヨリ

シテ輸出入ヲ制限サルルコトトナルニツイテ、日本トシテハ之ガ補償ヲ求ムルガ爲メニ勢ヒ彼ニ向ツテ從來ヨリモヨリ多ク軍需品及生活必需品乃至原料品ヲ送り、彼ヨリシテハ奢侈品ヲ多ク買ハナケレバナラナクナルガ、段々ト日本モ恰モ此禁輸ニ依ル壓迫ノ爲メニモ、奢侈品ノ購入ヲ差控エナケレバナラナクナリ、且ツ生活必需品乃至原料品ニツイテハ唯サヘ日本自身ニテモ缺乏ヲ感ジ、特ニ今日ノ場合其國內價格ノ高キガ爲メ、其調節、隨フテ輸出禁止又ハ少クトモ其制限ノ必要ガ唱ヘラルルノ事情ニアツテ、到底此等ニヨリテ夫ノ埋合ヲ着ケルコトハ出來ナイ。獨リ軍需品ノ中ニハ日本ニテ露國ノ販路ヲ失ヒタルヨリ米國ニ供給スル餘力アルモノヲ生ジタガ、其ハ併シ米國ノ方デ歡迎セヌ傾ガアル。船鐵ノ交換ノ成行カラ見テモ其事情ガ想像セラルル。其事ハ後ニ再説シヤウ。斯ノ如クニシテ彼ノ爲メ我輸出入ノ制限サルルコトトナル結果、我ガ(る)生産及消費ニモ不長ノ結果ヲ生スルコトハ前記ニヨリテモ明ナル所デアアルガ、日本ノ生産事業ノ之ニヨリ打撃ヲ受クルガ中ニモ、米國ヲ主販路トシ又ハ主供給者トスル物ニ就キテ最重イ打撃ヲ受クルコトトナリ、之ヲ救済スル爲メニ色々ト自給ノ方法ヲヤリ、他ノ外國ニ於ケル供給者及販路ヲ見付ケルコトヲ努ムルトモ、物ニヨリテハ其困難ナルガアツテ、日本ノ少クトモ或産業ニハ致命的打撃ヲ與フルモアル。例之日本ニトリテノ輸入品中デハ米國ヨリスルモノガ全體ノ中、鐵(條、竿、板、線)ハ九二%、苛性曹達曹達灰ハ八四%、機械ハ五八%ヲ占ムルガ、此等ハ日本ガ米國ヨリ之ヲ得ザレバ非常ニ困ルモノデアアル。日本ニ取リテノ輸出品ニテハ米國ニ往クモノガ全體ノ中、生絲ハ八六%、玩具ハ四五%、眞田ハ四三%、陶磁器、羽二重トモニ三四%デアアルガ、此等

ニツイテモ日本トシテハ大ニ困ル。但シ其反面ニハ輸入困難トナレル物ニツイテ已ムヲ得ズ日本
ヲ其製造業ノ發達スルトイフ利益ハアル。特ニ又日本ノ輸出工業ガ家庭工業ニシテ固定資本ニ依
ルコトノ大ナラザルモノノ多キコトモ、其輸出ノ減少ノ結果トシテハ早速國內市場ノ混亂ヲ生
ジ、生産減少ヲ行ハシメテ、勞働者ノ失業ヲ大ナラシメ下層民ノ生活ヲ困難ニスルノ恐ガ大イ。
其他日本ノ輸出品ノ大宗タル生絲ガ農家ノ副業タル養蠶ニ關スル所デ、其輸出ノ困難ハ臆カテ農
民ノ家計ヲ苦シメ、唯サヘ小面積ノ土地ヲ耕作シ、漸ク此等ノ副業ニヨリテ生活ヲ立テツアル
所ノ農民ヲ苦シムルコトトナル。右勞働者及農民ノ困難、隨フテ其購買力ノ減退ハ國內需要ニヨ
リテ立ツ所ノ商工業者ノ利益ヲモ減縮スルコトトナル。尤モ農民ノ家計困難ハ臆ガテ其ノ米穀ノ
賣措ヲ抑制シテ米價ノ下落ヲ促シ、少クトモ其騰貴ヲ抑エルコトトナリ、米穀消費者ノ利益ヲ進ム
ルトイフコトハアル。ガ此ニヨリテ生ズル利益ハ前數者ノ不利ニ比シテハ大體小ナルモノトイフ
テ可イ。其レカラ特ニ紡績事業ノ如キモノモ日本ノ工業トシテハ頗ル重要ナルモノデアアルガ、此
モ米國禁輸ノ爲メニハ一方原料ノ上ニ不利ヲ被ムリ、而カモ他方製品ノ販路ノ上ニ於テ、國內ノ
需要又ハ購買力ノ減退ノ爲メニモ不利ヲ受ケナケレバナラヌコトトナル。(ハ其レカラ米國禁輸ハ
直接日本ノ輸出入ヲ抑ユルト共ニ、日本ノ航海業ヲモ抑ユルコトニナル譯デアアルガ、此方ハ目下
其補償ヲ他ニ見出スコトガ貿易及産業ニ於ケルヨリモ一層容易ナルノ事情ニアル。第一ニハ日本
ノ主要輸出品ガ生絲羽二重等ノ如キ輕量品ナルガ故ニ、其ニ於テ若干ノ歩合ニテ制限サレテモ、
船腹ノ方ノ空虛ヲ生ズル度合ハ其ヨリハ少クテ濟ムコトヲ得ル。第二ニハ世界ノ航海界ノ狀勢、

特ニ日本ニ近キ方面ノ航運界ノ狀勢カラ見テモ米國禁輸ニヨリテ餘ル位ノ船腹ヲ利用スル舞臺ハ何處ニモアル。斯様ナ譯デ別段ニ船ガ積荷ナキ爲メ困ルコトトハナラズ、又賃率、傭船料等モ大シテ惡影響ヲ受ルコトハナイデアラウト思ハルル。(b)併シ禁輸ガ我産業ニ及ホス不利ナル影響ハ臆ガテ金融上ニモ不利ナル影響ヲ與エ、其ヨリシテ更ニ間接ニモ産業ニ不利ナル影響ヲ與フルコトトモナルデアラウ。次ニ又此禁輸ガ

(B)精神上ノ影響——トシテハ日本ノ國民ニ向テ、(c)外國特ニ米國ニ餘リ多ク依頼スベカラザルコトノ自覺ヲ與ヘタ。日本人ハ兎角依頼心ノ強キ國民デ、餘リニ多ク他ニ依頼シテ居ルガ、此度ノ禁輸ニヨリ其ノ不利ヲ覺ルコトガ出來タトスレバ其ハ頗ル有益デアル。特ニ米國トイフ國ガ本來到底日本ニ心カラ親マザル國デ、日本トシテハ之ニ依頼スルコトガ最危險デアルノニ、日本ガ餘リニ多ク之ニ依頼スルノ危險ナルコトハ此禁輸ニヨリテ適切ニ教エラレタト思フ。(r)更ニ日本ノ國民ガ此戰爭トイフ偶然ノ出來事ニヨリ意外ノ利益ヲ受ケテ有頂大トナリ、成金氣分トナリ、輕薄ナル氣風ニ襲ハレテ居タノニ、此禁輸ニヨリテ漸次戰爭ノ必スシモ利益ノミ齋ラスモノデナク、益々損害ヲモ與フルコトヲ知り、茲ニ漸ク眞面目ナル氣風ヲ養フコトトナツタ。是レ亦此出來事ノ有利ナル結果デアル。此度ノ戰爭ハ實ニ其開戰當初暫クノ間ハ日本ノ爲メニ不利ヲ與エタガ、其後ハ次第ニ好影響ヲ多ク與エテ以テ昨年上半年ニ及ンテ絶頂ニ達シタ。其ガ其下半年以來逆轉シ初メタ。畢竟スルニ日本ノ好景氣モ戰爭ニ依ル米國ノ好景氣ノ餘波トイフヘキモノガ多ク、日本ノ財界ノ此度ノ逆轉モ亦タ米國ノ不況又ハ其政策ニ因ルコトガ多イ。斯ク考フルト米國

禁輸ハ精神上ニハ日本ヲ利シタルモノガ多イ。尙ホ其ガ更ラニ日本ノ經濟上、永遠ニ亘ル確固タル政策ヲ建ツルノ基礎トナフタトモイヘル。但シ其反面ニ日米ノ親交關係ハ幾分カ不良トセラレタコトハ爭ハレヌ。

(三)

斯ノ如キ影響ヲ日本ニ與フル所ノ此米國禁輸ニ對シテハ、日本トシテ何等カノ方策ヲ講ジナケレバナラヌコト勿論デアルガ、其ヲ說ク前ニ米國ガ何ノ目的ヲ以テ之ヲ爲シ又ハ爲サントシテ居ルカラ考エテ見ナケレバナラヌ。ソシテ又此禁輸ガ禁輸ノ爲メノ禁輸デハナクテ、戰爭ノ爲メニ避クヘカラズニ生ジタモノデアルカラ、禁輸其モノノ目的ノミナラズ、米國參戰ノ目的ヲモ一通リ研究スルヲ要スル。先ツ

(A) 米國參戰ノ目的——如何トイフト、此ニハ正面ノ其ト裏面ノ其トアル。(い) 正面カライヘバ世界ノ平和、人道ノ爲メ、ソシテ軍國主義非人道主義撲滅ノ爲メトイフノデアラウ。其丈ケヲ聞イテ居ルト洵ニ結構デ、反對モ非難モスル餘地ハナイ。併シ米國々民ノ如キ實利主義ノ傾キ強キ人間ガ平和主義人道主義ノミヨリ此度ノ大事ヲ敢テシテ居ルトハ想像サレナイ。彼ガ必スシモ眞ノ人道主義者デナイコトハ、在米日本人ニ對スル彼ノ態度デ十分明カデアル。彼ガ必スシモ眞ノ非軍國主義者デナイコトハ從來ノ彼ガ布哇ヲ併セ比律賓ヲ吞ミタル政策デ分カル。(ろ) 裏面カライフト此ニハ又二ノモノガアル。一ハ其國內ノ統一ヲ計ラウトイフノデ、他ハ其勢力ヲ國外ニモ及ホスノ基礎ヲ作ラウトイフノデアル。(1) 彼ハ實ニ從來政治上社會上經濟上不統一又ハ地方分權ノ

弊ヲ最多ク感ジタ所デアル。其ノ之ヲ組成スル所ノ各州ノ權力ハ餘リニ強大デアリ、其ノ之ニ屬スル人種ハ餘リニ多様デアル。彼ハ即チ一ノ國家トシテハ極メテ不完全ノモノタルヲ免レヌ。之ヲ此對外ノ大戰爭ヲ利用シテ完全ナルモノトシヤウ。中央集權ヲ計リ、統一ノ實ヲ擧ゲヤウトイフノデアル。之ト伴フテハ又愛國心ヲ養ヒ且ツ實質ナル習慣ヲ作り出サウトイフコトモアル。從來彼國人ハ動モスレバ箇人主義的實利主義的デアツタカラ、之ヲシテ國家的理想的タラシメヤウトイフノデアル。彼國人ハ又從來華者輕薄ナル風習ニ染ンデ居タカラ、其ヲ變ジテ實質莊重ナル氣風トシヤウトイフノデアル。(2)更ラニ彼ハ此戰爭ニヨリテ米國ノ勢力ヲ外ニ向テ政治上經濟上ニ發展シヤウトイフノデアル。本來彼國ハ國內ニ於テ開發スヘキ富源ガ豊富デ、必スシモ外國ニ向テ發展スルヲ要セヌガ、併シ彼ノ際限ナキ欲望ハ其經濟上ノ勢力并ニ之ト共ニ政治上ノ勢力ヲ外國ニ向テモ伸バサウトイフノデ、今日マデモ之ヲ怠ラナカツタガ、今ヤ戰爭ニヨツテ此目的ヲ一層良ク達シヤウトイフノデアル。彼ガ此目的ノ爲メニ參戰シタコトハ當時ノ事情ニヨリテ明カデアル。其後ノ事情ノ變遷ハ恐ラクハ若干彼ノ豫算外レノコトモアルガ、兎モ角彼ノ參戰當時ニ在テハ未タ露國モ何ウニカ其陣容ヲ維持シテ居リ、英佛伊側ノ陣容モ亂レズニアツテ、何ウニカ其防勢ハ保タレテ居ツタガ、此先キ獨逸ヲ抑壓スル爲メニハ尙今一段ノ力ヲ要スル所デ、米國ニテモ之ニ加勢スルナラバ、獨逸ヲ倒スコトガ必スシモ不可能ナラザルガ如キノ情勢ニアツテ、ソシテ米國ノ參戰ニヨツテ能ク此目的ノ達セラルルコトガ出來レバ、此戰爭ノ終末ガ米國ニ負フ所多キ譯デ、米國ハ戰後與國ニ對シテ又世界ノ全體ニ對シテ最大ナル威力ヲ振フヲ得ルコトトナル。

此ガ彼ノ望ム所デアル。加之此米國ノ參戰ニヨツテ從來彼ノ缺陷タリシ軍備モ自然此戰爭ノ爲メトイフノデ充實シ、之ニヨリテモ實際彼ガ一層大ナル威力ヲモツコトトナル。其結果ハ又彼ヲシテ矢張り一ノ軍國主義國タラシメテ、前ニイヘル、軍國主義ヲ制スルガ爲メニ別ニ新ナル軍國主義ヲ加フルノ實ヲ見ルヲ免レヌ。而シテ又斯ノ如クニシテ米國ノ世界ニ於ケル政治上ノ力ヲ強ムルノ結果ハ、經濟上ニモ亦タ彼ノ利益ヲ世界的ニ占メシムルコトトナルヘキデアル。彼ノ政治上ノ功勞ハ能ク他ノ國々ヨリ有利ナル待遇ヲ與エシムルニ足ルコトトナル。加之所詮米國ノ參戰トイツテモ兵卒ノ人ニ依ル貢獻ヨリハ物資ニ依ル助力ガ主トナルカラ、此參戰ニヨツテ益々物資ノ供給ニ力ヲ用ユルコトトナリ、切角此度ノ戰爭ニ依リ發展シタル米國ノ諸工業ヲシテ益々維持發展スルヲ得セシムルコトトナル。之ニヨリ戰爭ヲ永引カスコトガ出來レバ、其間ニ彼等ノ收得スヘキ儲ケニヨリテ資本ノ消却ヲ十分ニ行フテ、戰後ノ競爭ニ堪ユル力ハ非常ニ大ナルモノトナルコトガ出來ル、是レ亦彼ノ參戰ニヨリテ希望スル所ノモノデアアル。特ニ彼ノ船ノ如キハ從來兎角振ハズ、其有ツ所ノ商船ノ總噸數ニ至テハ英國ニ次イデ第二位デモアツタ程デアルガ、外國貿易ニ從事スルモノトイヘバ僅カニ百萬噸バカリデ、其自身ノ外國貿易スラ多クハ外國船ヒヨリ行ハルル有様デ、彼ノ從來非常ニ遺憾トシタ所デアアル。此ハ彼ノ如キ努力ノ貴キ國情ノ下ニハ已ムヲ得ザル勢デハアツタガ、何トカシテ之ヲ今少シク多クスルデナケレバ、彼ノ海外發展ガ盛ナルコトヲ得ナイト信ゼラレタ。恰モ此度ノ戰爭アルニヨリ、彼ガ之ニ參加スルニ就キ、國民ニ愛國的ノ奮發心ヲ起サシメテ、鐵商製鐵業者ニ愛國相場ニテ安ク材料ヲ提供セシメテ、ウント澤山ナル

船ヲ作り、之ヲ以テ目前ハ軍需品ノ大輸送ヲ爲シ、戰後ニハ之ヲ以テ世界的ニ通商上大活動ヲシヤウ。特ニ此度ノ戰爭ニヨリ世界ノ船舶ニ缺陷ヲ生ジタルニ就テハ、米國ガ此武器ヲ以テ戰後ノ經濟戰ニ於テ大ナル活動ヲ爲サウトイフノデアル。是レ亦彼ガ此戰爭ヲ利用シテ其經濟上ノ發展ノ基礎ヲ立ツル所以デアル。彼ガ日本等ニ鐵材ノ出ルコトヲ好マヌノモ畢竟ハ此ニ基クノデアツテ、日本等ニ鐵材ヲ自由ニ出スコトハ、右ノ愛國相場ニテ自國造船業ヲ利シ之ヲ伸バヌニ就イテ不便トスル所デアル。彼米國トシテハ一面日本ヨリ船ヲ得タイデハアラウガ、其ハ鐵ヲ與フルコトナクシテ唯タ船ガ得タイノデアラウ。又其船ヲ日本等ヨリ得ルヨリモムシロヨリ多ク自國ニテ船ヲ造リ得ルノ設備ガ備ヘタイデアラウ。次ニ

(B) 米國禁輸ノ目的——如何トイフト、之ニハ戰爭遂行上ノ目的ト戰後ニ於ケル平和戰ノ爲メノ目的トアル。(イ) 戰爭ノ爲メニスルモノニテモ敵ニ力ヲ與ヘザルガ爲メノト味方ノ力ヲ充實スル爲メノトアル。(1) 敵ニ力ヲ與ヘザル爲メトイフト、其ハ米國ヨリ見レバ重ニ輸出ニ關スル。米國ヨリ生活及軍需材料ヲ自由ニ出スト、其ガ廻リノ一テ敵國ニ往クカモ知レヌ。其取締上特許ヲ要スルコトトシ、又ハ之ヲ制限スル。其ヲ從來ノ幾割カニ制限スルコトニナレバ、之ヲ輸入スル國例之日本ノ如キデモ、自國ノ爲メニ切ナル需要モアルコト故、敵國へ密輸出ナドスル餘裕ガ自然少ナクナル。其ヲ米國ガ期望スルノデアル。其レカラ米國ヨリ見テ輸入ニ屬スルモノノ制限ニツイテハ、其代金トシテ拂ハルル金ガ敵國ニ行カヌコトヲ期望スルニ出ルノデアル。例之日本ガ敵國ヨリ染料ヲ密輸入スルト假定スレバ、斯ノ如キモノハ日本ノ對米輸出ガ多ケレバ多キホド、多

カルヘキノ理デアリ、結局米國ノ金ガ敵國ニ廻ハリ行クモノガ多クナル譯デアアル。米國ハ即チ之ヲ好マヌ。(2) 味方ニカヲ充實スルトイフ點カラ見ルト四ノモノヲ舉ルコトヲ得ル。曰ク、船、曰ク物、曰ク金、曰ク人デアアル。(A) 船ノ點カライフト、此モ更ニ二分ケテ見ルコトガ出來ル。第一ハ米國ノ貿易ヲ二割ナリ三割ナリ制限スレバ、其レダケ米國ト他ノ國例之日本トノ貿易ニ用キラレタル船腹ヲ不要トスルコトトナリ、自然此ガ米國ノ最缺乏ヲ感ズル所ノ太平洋面ヘ船ヲ廻ハサザルヲ得ザラシムルコトトナル。米國ハ之ヲ希望スルノデアアルガ、實際ハ航海業ノ現狀ハ日米貿易ノ制限ガアツテモ斯クテ日本船ガ自然ニ太平洋ニ往クカハ疑ハシイ。日本船ハ其ニ往カナクトモ日本ノ近海并ニ印度洋南太平洋ノ方面デ優ニ安全ニシテ一層有利ナル活動ヲ爲スコトヲ得ル。尙ホ此船腹ノ點カライヘバ容積重量ノ多キ物品ガ一層多ク制限セラレル傾ガアル。第二ニハ昨年來ノ鐵船ノ交換ヲ米國ノ爲メニ有利ニ解決スルノ手段トシヤウトイフノデアアル。日米貿易制限トイフ日本ノ不利ヲ以テ脅カシテ、夫ノ交換ヲ米國ニトリ有利ナラシメントスルノデアアル。(B) 物ノ充實ノ點カライフト特ニ生活及軍需必需品ノ充實デアツテ、其ノ輸出ヲ制限シ及其輸入ヲ容易トスルコトト、更ニ奢侈品ノ輸入ヲ制限シ及其輸出ヲ容易トスルコトトヲ要スル。其ノ奢侈品ノ輸出ガ容易トナレバ、其レダケ不要物ガ米國ヨリ出テテ、代リニ必需品ガ米國ニ入りテ米國ノ必需品ヲ充實スルコトトナル。此方ハ大シタコトハナイガ、奢侈品ノ輸入ノ制限ハ有功デアアル。特ニ米國ノ如ク奢侈品ノ輸入ノ盛ナル國デハ然リデアアル。彼ガ奢侈品ノ輸入ヲ制限スレバ、相手國ハ已ムヲ得ズ之ニ代ルヘキ必需品ヲ米國ニ送ルコトトナル。隨フテ米國ニ必需品ヲ充實スルコ

トトナル。偕テ茲ニ問題ハ生絲ガ奢侈品カ必需品カトイフコトデ、其問題ノ解決如何ガ日本ノ經濟ニトリテハ重大デアルガ、其ハ半バ必要、半バ奢侈トイフガ正當デアリ、隨フテ若干ノ輸入制限ハ米國ノ立場トシテ已ムヲ得ヌト思フ。勿論此ガ凡ヘテ彼ノ工業ノ原料デアルトイフコトガアリ、隨フテ之ガ輸入ノ制限ハ彼ノ工業家ノ反對スル所トイフコトハアルガ、今日ノ彼ニトリテノ重大ナル時機ニ臨ミテハ一部工業家ノ損害トカ非難ナドハ犠牲ニ供スルヲ辭セナイデアラウ。此ガ必需品ノ原料トナルトイフ點カライヘバ例之電機用、飛行機用、火藥包裝用、彈丸運搬用、兵卒下着用(トシテ絹物ヲ用ユルトキハ銃創癒エ易シトイフ)等デアルガ、一般人持ニ婦女子ノ着用トシテノ絹物ニ至テハ、假令其ガ彼國ニテ一般的需要ノ度ニ達シタリトハイヘ、必ズシモ之ニ依ラサルヘカラサルモノデナク、彼國自身ニテ産出スル原料ニヨル所ノ毛織物并ニ特ニ綿織物ヲ以テ代用スルコトガ出來ル。故ニ此生絲ノ禁輸ニツイテハ日本トシテ樂觀ヲ許サヌ。(C)金ノ點カライフト、即チ此ハ正貨充實デ、之ガ爲メニハ成ルヘク多クヲ外國ニ賣リ、成ルヘク多クヲ買ハザルヤウニシナクテハナラヌガ、併シ前ノ物ノ充實ノ要求モアルカラ、結局此點カラハ成ルヘク多ク奢侈品ヲ外國ニ賣リ、成ルヘク少ク之ヲ買フコトニスルコトニナル。尤モ此奢侈品ヲ出來ルタケ多ク買ハナイヤウニスルトイフコトハ、今日米國ハ禁金ヲシテ居リ、其後日米金融協定ナドモ行ハレテ日本ガ米國ヨリ金ヲ持去ラザルコトトスル以上ハ、彼トシテハ此點カラシテ別ニ配慮スルニ及ハヌヤウデアアルガ、均シク米國ニ金ガ止マツテ居ツテモ、其ガ米國自身ノ勘定ニ屬スルヤ、日本等外國ノ勘定ニ屬スルヤガ、彼ノ信用ニ無關係デナイノミナラズ、一朝事變ノ止ミタ

ル後ニハ日本ノ勘定ニ屬スルモノナラバ、日本トシテ早速之ヲ持歸ルカモ知レナイ。此レ亦米國トシテ其金充實方針ノ上カラ好マヌ所デアル。(D)人ノ充實ノ點カライフト、今日米國ハ戰爭ノ後方勤務ニ屬スル本國ニ於ケル農工諸業ニ勞力者ノ缺乏ヲ嘆シテ居ル。歐洲ヨリハ移入スルモノ少クシテ歸リ往ク者多ク、益々人ノ缺乏ヲ見ル。處デ之ガ爲メニ日本人ヲ歡迎スルカトイフト、其處マデハ彼ノ能ク決心セザル所デ、要スルニ日本人ハ問題多キ人種トシテ之ヲ引入ルルコトヲ好マズ、ムシロ他ノ人間ヲ入ルルデアラウ。ガ歐洲戰場ニ日本人ノ参加スルコトハ彼ト雖モ最希望スル所デアラウ。日本人ニモ出來ルダケ多ク骨ヲ折ラシテ、甘キ汁ハ之ヲ自ラ收メヤウトイフトハ最多ク彼等ノ希望スル所デアラウ。デ此禁輸ニヨリ日本ノ經濟ニ大打撃ヲ與フルコトハ、難カテ一步一步日本ヲシテ此戰爭ニ深入リセサルヲ得ザラシメテ、遂ニ日本ヲシテモ大人ヲ以テ此戰爭ヲ助ケザルヲ得サラシメヤウトイフノデアラウ。尤モ餘リ日本ガ之ニ關係スルコトニナレバ、日本自身船ニ缺乏ヲ感ジテ米國ノ船舶要求ニハ適ハヌコトニナル。(ろ)戰後ニ於ケル平和戰ノ爲メニスル點カライフト、此ニモニアツテ(1)日本等ニ戰時中餘リ多ク儲ケササナイヤウニシヤウ。彼米國ヨリイヘバ自ラハ益々戰爭ニ深入リシテ儲ケガ餘リ出來ナクナツタカラ、日本ガ尙ホ餘リ多ク儲ケテ此間ニ資力并ニ生産力ヲ伸バシテハ、彼ノ平和戰ニ於ケル敵ノ力ヲ大ナラシムルノデ不利デアル。故ニ日本ニ其生産ニ必要ナル材料ハ出來ルダケ送ラス、又日本ヨリ成ルヘク多クヲ買ハナイヤウニシヤウトイフノデアル。又日本ノ唯一ノ武器タル船モ出來ルダケ多ク、安ク買取テシマツテ、此先キ戰時中餘リ多ク儲ケササズ、戰後モ之ニヨリテ發展セシメナイヤウニシ

ヤウトイフノデアアル。彼ガ其處マデ深ク考エテ居ルカハ明カデハナイガ、兎モ角結果カラ推シテ考エルト其ウイフコトガイヒ得ル。(2)更ニ米國トスレハ此禁輸ガ動機トナツテ日本ガ益々此戰爭ニ深入リシテ、一旦此迄ノ戰時中ニ儲アタモノヲ吐キ出シ并ニ其上ニモ負擔ヲ加フルコトガ彼ノ平和戰上ニ希望スル所デアラネバナラス。此モ聊カ想像シ過キタ嫌ハアルガ、一應ノ推測ヲ爲シ得ルコトデハアル。

(四)

斯カル原因ヨリ起リ斯カル影響ヲ生ズベキ米國禁輸問題ニ對シテ我國トシテ如何ナル方策ヲ採ルヘキヤ。先ツ

(A) 應急策——トシテハ外、對米交渉ヲ爲シ内ハ生産交易消費分配上臨機ノ處置ヲ採ラナケレバナラス。(i) 對米交渉トシテハ彼國ハ最近ニ日米協定ヲ結ヒタルコトデモアリ、我國ハ彼ト共同ノ敵ヲモツ所ノ與國デモアルカラ、打解ケテ協議スレバ日本ニ對シテ若干之ヲ緩メシムルコトヲ得ルデアラウ。彼ガ貿易ノ幾割制限トイフコトニテモ設クルニ就テハ之ヲ一層輕イ度ニ定メシムルコトモ得ヤウシ、特許ノ場合ハ手加減ヲ行ヒ出來ルタケ寛大ナル態度ヲ以テ我ニ望マシムルコトヲモ得ヤウ。ソレニ就キ彼ガ船腹ニ苦シムダケデハ、別ニ出來ルタケ船ヲ彼ノ爲メニ廻ハスヤウニシ、彼ノ鐵道貨車ノ不足ニヨル陸上輸送難ヲ救フガ爲メニハ、日本ヨリ米國ノ西海岸ニ往ク船ヲ幾分、東海岸廻ハシニ變更スルコトトスルモ可イ。又金ニツイテハ日本ノ勘定ニ屬スル金ヲ戰時中彼國ヨリ持歸ラザルノミナラス、彼國ノ戰爭ノ爲メニ貢獻スルヤウニ取極メテ爲スコトモ

出來ル。ソシテ生絲ナドノ如キ我重要輸出品ニツイテモ、此ガ奢侈品デナク必需品タルノ性質ヲ能ク説明シテ之ガ制限ヲ出來ルダケ寛大ナラシムルヤウニシ、鐵綿等ノ原料品ニツイテモ之ヲ以テ米國並ニ歐洲與國ノ爲メニ軍需品ノ製造ヲ引受ケテ彼等ヲ援助スルヤウニシ、其爲メニ此等ノ原料ヲ出來ルタケ多ク我ニ輸出セシムルヤウニシ、尤モ其ニハ日本モ今少シク誠意アル態度ヲ以テ、薄利ニ甘ズルノ覺悟ヲ以テ之ニ當ラナケレバナラヌ。而シテ之ガ爲メニハ政府ノ一層ノ干涉並ニ相當ノ財政上ノ犧牲モ亦已ムヲ得ザルコトトナルデアラウ。更ラニ米國トノ交渉ニ於テ大使館員ノ外、別ニ財政經濟委員ヲ彼國ニ常置シテ當ラシムルコトモ肝要デアアル。到底大使ノ正面交渉ノミデハ十分ナル活動ハ出來ナイデアラウ。斯クテ右ノ對米交渉ト伴フテモ(右)對内施設トシテ自然政府カ(1)生産干涉ヲスルコトニナルガ、尙ホ此外ニモ斯クテ交渉ヲ努メテモ十分ニ目的ヲ達セズ随フテ一方ニハ内地ニテ材料ノ缺乏ヲ感シ、他方ニハ其過剩ヲ感スルコトトナルニ於テ、其缺乏スル物ハ之ヲ國內ニテ自給スルノ途ヲ講ジ、及ビ米國以外ノ外國例之東南洋諸邦ニ求メ、更ニハ過剩ヲ感ズル物ニテ代用セシムルノ途ヲ講ジ、過剩ヲ感スル物ハ之ヲ附近ノ外國ニ輸出スルノ努力ヲ爲シ、又ハ缺乏品ノ代用ニ充ルノ外、生産制限ヲ爲スコトトスルノ外ハナイ。例之夫ノ生絲ノ如キモノモ勢ヒ多少生産制限ヲ行フノ外ナキコトトモナルデアラウ。缺乏品ニツイテモ遂ニハ齊シク消費制限ヲ行フコトヲ要スルコトニモナリ得ル。更ラニ結局ハ過剩及缺乏孰レノ物ニツイテモ少クトモ重要ナル物ニ於テハ政府ガ價格ヲ制定シ、賣買ヲ自ラ行ヒ、又ハ輸出入ノ制限ヲ行フノ外ナキコトトモナラウ。(2)而シテ我國ニ於テ禁輸ノ結果、原料ヲ得ザルコトトナリ又ハ

製品ノ販路ヲ失フコトトナレル爲メ生産制限ガ行ハレタル事業ニ從事シタル人々ノ失職ニ對シテハ、之ガ應急ノ救濟ト更ラニハ轉業ノ紹介ヲモ爲サナケレバナラヌ。或ハ進ンデ事業ノ經營者ニ全融上ノ援助ヲモ要スルコトトナルデアラウ。

(B) 根本策——右應急策ノ外、日本トシテハ根本的ニモ其國民經濟ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲メニ此際或施設ヲ爲サナクテハナラヌ。(イ) 卽チ由來我國國民經濟ハ米國ニ餘リ多ク依賴シ過キテ居ルトイフ弱點ヲ有スル。此ガ我國國民經濟ノ謂ハバ痼疾デアアル。一體或國ガ餘リニ多ク他國ニ依ルコトハ望マシカラザルコトデアアル。其場合ニハ前者ハ後者ノ自然的社會的變動ノ爲メニ斷エズ動搖セシメラレナクテハナラヌ。ガ其兩國間ノ政治的關係ノ必スシモ平靜ヲ保スヘカラサル場合ニハ一層困マル。日米關係ハ當サニ此レデ、日本ハ米國ト衝突スヘキ素因ヲ有スルノニ、經濟上特ニ貿易上ニハ其米國ヲ最重大關係アル國ト爲シ、而モ之ニ對シテ輸出超過ヲ例トシ、必要品ヲ輸入シテ奢侈品ヲ輸出スルトイフノデ、日本ハ此アルガ故ニ常ニ米國ノ爲メニ死命ヲ制セララルノ地位ニ立ツ。此ヲ改造スルデナケレバ到底日本ハ米國ニ對シテ頭ガ上ラナイ。此先キトモ日本ハ米國ヨリ屢々難題ヲ出サルルデアラウガ、右ノ根本的關係ノ續ク限リハ多少日本ノ屈從ニマデ解決サルルヲ免レナイ。此ヲ改メルノニハ日本ハ東南洋トノ關係ヲ一層密接ニシナケレバナラヌ。特ニ今日戰時ニ際シテ、歐米ノ力ノ此ニ及バザルニ乘ジテ、決シテ一時的ノ考デナク、恒久的ノ考ヲ以テ卽チ十分信用ヲ重ンジテ此ニ進マナケレバナラヌ。此ニ我製品ノ販路ヲ擴張シ又此ヨリ我必要トスル原料ヲ得ナケレバナラヌ。此方面ナレバ大體日本ノ勢力ヲ及ホシ得ヘク、假令之ニ依賴スル

トモ、其自然的社會的影響ヲ受ルコトハ避ケラレナイニセヨ、政治的ニ壓迫サルルノ恐ハナイ。米國ノ如ク政治的ニ壓迫ヲ受クル危險アル國トハ趣ヲ異ニスル。(る)更ニ又日本ノ永遠ノ爲メヲ思フト此際戰爭ニハ深入リセザルコトガ肝要デアアル。西伯利亞出兵ノ如キモ日本ガ自衛上避クヘカラザルダケニテハ仕方ガナイガ、然ラザル限リハ努メテ之ヲ手控エシテ、我ガ戰爭ニ依ル負擔ヲ少クシ以テ我國方ヲ維持シ、併セテ米國ノ日本ニ對スル疑念ヲモ去ラシメナクテハナラヌ。日本ハ此上領土ヲ擴張セズ、唯ダ經濟關係ヲ東南洋ニ擴張ストイフコトヲ標榜スルガ最安全確實デアリ、此點ヲ最明瞭ニシテ進ムノガ得策ト思ハルル。之サヘ明カデアレバ、日本ハ戰爭ニ深入リセザルコトガ出來、隨フテ日本ノ經濟力ヲ維持シツツ勢力範圍ヲ擴張シ、而カモ米國等ノ妨害モ受ケズ、并ニ當面ノ禁輸ニモ甚シク不利ナラザル解決ヲ得ルコトガ出來ヤウト思フ。